

学都仙台コンソーシアム・サテライトキャンパス 公開講座



6月11日(土)に東北工業大学一番町ロビー4Fホール(仙台市青葉区)で開催された平成23年度学都仙台コンソーシアムサテライトキャンパス公開講座にWPI-AIMRが参加し、アウトリーチマネージャーの池田准教授が「材料のおはなしー石ころから暮らしを支える先端材料まで、そのつながりをひも解くー」と題して講義を行いました。

前半は授業形式とし、石ころと、例えば現代のコンピュータ社会を支えるシリコンウエハの間にある関連性などを題材に、材料や材料科学に関して親しんでいただきました。後半は25名の受講者の皆様と、偏光板を使って、材料の性質を探る実験を楽しみました。材料には、原子や分子が規則正しく配列している結晶からなるものと、原子や分子が無秩序に配列した構造をもったもの(非晶質と呼び、ガラスがその代表例です)があります。最初に偏光板の性質を調べ、次に、2枚の偏光板の間にいろいろな試料を挟み、結晶やガラスを見分けたり、結晶の種類を見分けたりしました。また、例えば、液晶ディスプレイから出ている光、床で反射した光など、身の回りにも偏光があることを、偏光板を用いて確認しました。

学都仙台コンソーシアムは、大学等の高等教育機関と市民・企業・行政がともに高め合い、学都の持続的発展をもたらすために設立され、サテライトキャンパス公開講座などの事業を進めています。震災後、本公開講座も開催が危ぶまれたようですが、主催の皆様のご尽力によって開催に至り、私共も、講座を開くことができました。学都仙台コンソーシアムの運営に関わられている皆様と、このような状況下でも向学心をもって講座に参加くださった皆様に御礼を申し上げます。



東北大学原子分子材料科学高等研究機

WPI*AIMR

